

令和4年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	農地整備事業〔畑地帯総合整備事業（国補）〕		事業箇所	笛吹市境川町藤笠	地区名	藤笠	事業主体	山梨県
-----	-----------------------	--	------	----------	-----	----	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H24~H29	H24~R5	H24~R8
総事業費	1,365 百万円	1,765 百万円	1,667 百万円

④特記事項（関連事業概要等）
・なし

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

本地区は笛吹市南西部の丘陵地帯に位置し、もも・すもも・ぶどうなどを基幹作物とした農業が営まれている県内有数の果樹産地である。
しかしながら、地域内の農道は幅員が狭く、農作業車両の乗り入れが困難であることや、狭小で不整形な農地が多いことから機械作業の導入が進まず、人力作業を中心とした営農体系であった。また、地区内は排水条件が悪い箇所が多いことから、農作物の湿害が発生するなどの品質の低下を招いていた。さらに、シカ、イノシシ等の野生獣による農作物被害も頻発していたことから、営農意欲が減退していた。
このため、農道・水路・区画整理・鳥獣害防止施設といった農業生産の継続に必要な基盤整備を通じ、農業の競争力を強化することを目的として、事業を実施している。

□主要目標 ○農業生産力向上
（面積当たりの農業所得増加額：991千円/ha ≧ 810千円/ha）
□副次目標 ○農業用排水能力の向上
○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上
□副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全

②事業概要

	現計画	変更計画	現計画	変更計画
用排水路	L=1,040m → L=1,002m	区画整理	A=30.5ha → A=19.6ha	
農道	L=2,640m → L=2,354m	鳥獣害防止施設	L=3,300m → L=3,125m	

③全体計画

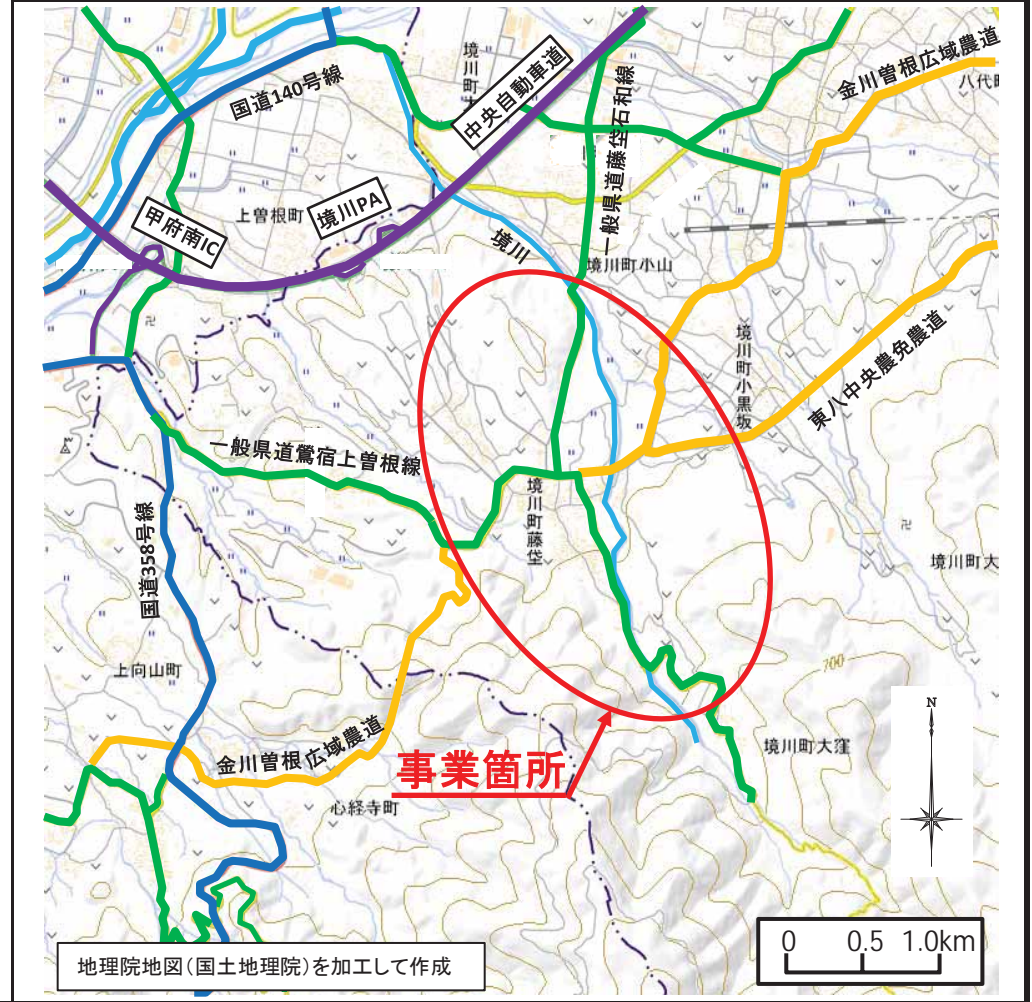
		令和3年度まで	令和4年度 (評価実施年度)	令和5年度以降
現計画	工事内容	用排水路 L=652m 農道 L=1,352m 区画整理 A= 6.3ha 鳥獣害防止施設 L=3,125m	区画整理 A=0.9ha	用排水路 L= 388m 農道 L=1288m 区画整理 A= 23.3ha 鳥獣害防止施設 L=175m
	事業費	730 百万円	90 百万円	945 百万円
変更計画	工事内容	用排水路 L=652m 農道 L=1,352m 区画整理 A= 6.3ha 鳥獣害防止施設 L=3,125m	区画整理 A=0.9ha	用排水路 L= 350m 農道 L=1,002m 区画整理 A= 12.4ha
	事業費	730 百万円	90 百万円	847 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況（平成23年度事前評価）

本事業は、後継者不足や耕作放棄地の増加、農業生産性低下などの問題を抱える中で、農作業の効率化や農作物への鳥獣被害防止、農業経営の安定化などを図る上で必要な事業であり、実施が妥当である。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

区画整理の必要性は十分理解しつつも、一部のエリアでは収穫適期を迎えている果樹の伐採や相続登記未了の土地交渉が難しいなどの理由により、換地計画の合意形成に日数を要し、計画期間内での実施は難しいとの意見が出ている。

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・土地改良長期計画
- ・やまなし農業基本計画(令和3年9月改定)

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点	変更計画時点
総事業費		1,365 百万円	1,667 百万円
工期		H24~H29	H24~R8
評価基準年		H23	R4
経済 効 率 性	費用	1,330 百万円	1,560 百万円
	建設費	1,330 百万円	1,560 百万円
	便益	2,000 百万円	2,018 百万円
	作物生産効果	728 百万円	782 百万円
	走行経費削減効果	620 百万円	695 百万円
営農経費節減効果	530 百万円	378 百万円	
その他※	122 百万円	163 百万円	
B/C		1.5	1.3

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、品質向上効果、維持管理費節減効果、国産農産物安定供給効果の合計。

（3）これまでの計画変更等の概要

- ・農道の土質試験の結果、想定より地盤が軟弱であり路床の改良が必要となったため、セメント安定処理工の追加による事業費の増。
- ・区画整理エリア内における換地計画の変更に伴い、区画整理内農道を追加したことにより事業費が増となった。
- ・区画整理の推進に際して、換地計画の合意形成に日数を要し、また、農道の設計計画において接続先の道路管理者および公安委員会との協議に日数を要したため、計画期間を令和5年度まで延長した。

（事業費） 400百万円増

（事業期間） 6年間延長

評価シート(2)

<p>(4) 事業進捗状況及び見込み</p> <p>①進捗率 別表のとおり。 R4年度進捗率(現計画) 46.5% → (実績) 46.5% → (変更計画) 49.1%</p> <p>②進捗率実績が計画と相違している理由 計画どおり進捗</p> <p>③総事業費の変更内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">変更工種等</th> <th style="width: 20%;">事業費増減</th> <th style="width: 65%;">変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">区画整理</td> <td>154 百万円 の減</td> <td>換地計画の合意形成が難航したため、本事業から除外することによる事業量の減。</td> </tr> <tr> <td>130 百万円 の増</td> <td>換地計画の変更に伴い、区画整理内農道を追加したことにより事業費の増。</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td>55 百万円 の減</td> <td>用地取得が困難な箇所があり、既存道路を利用することとしたため、事業費の減。</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>14 百万円 の減</td> <td>詳細設計による施工延長の減。</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止施設</td> <td>5 百万円 の減</td> <td>地元耕作者との立会の結果、線形変更に伴う事業量の減。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>98 百万円 の減</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>④事業期間の変更理由及び進捗予定 農道の設計計画において、接続先の道路管理者および公安委員会との協議が難航し遅れが生じていた。また、区画整理実施予定の換地計画の合意形成に日数を要していたが、これらの計画に見通しが立ったことから、工期を3年延長し、令和8年度の完了を予定している。</p> <p>⑤今後の事業執行における留意点 なし</p>	変更工種等	事業費増減	変更理由	区画整理	154 百万円 の減	換地計画の合意形成が難航したため、本事業から除外することによる事業量の減。	130 百万円 の増	換地計画の変更に伴い、区画整理内農道を追加したことにより事業費の増。	農道	55 百万円 の減	用地取得が困難な箇所があり、既存道路を利用することとしたため、事業費の減。	用排水路	14 百万円 の減	詳細設計による施工延長の減。	鳥獣害防止施設	5 百万円 の減	地元耕作者との立会の結果、線形変更に伴う事業量の減。	合計	98 百万円 の減		<p>(5) 環境負荷等への配慮 なし</p> <p>(6) コスト縮減の可能性 なし</p> <p>(7) 代替案立案の可能性 なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他() (理由) 果樹生産の強化を図り、農業経営の安定化を実現するのに不可欠な基盤整備であることから、事業を継続し、令和8年度の完了を予定している。</p>
変更工種等	事業費増減	変更理由																			
区画整理	154 百万円 の減	換地計画の合意形成が難航したため、本事業から除外することによる事業量の減。																			
	130 百万円 の増	換地計画の変更に伴い、区画整理内農道を追加したことにより事業費の増。																			
農道	55 百万円 の減	用地取得が困難な箇所があり、既存道路を利用することとしたため、事業費の減。																			
用排水路	14 百万円 の減	詳細設計による施工延長の減。																			
鳥獣害防止施設	5 百万円 の減	地元耕作者との立会の結果、線形変更に伴う事業量の減。																			
合計	98 百万円 の減																				

別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

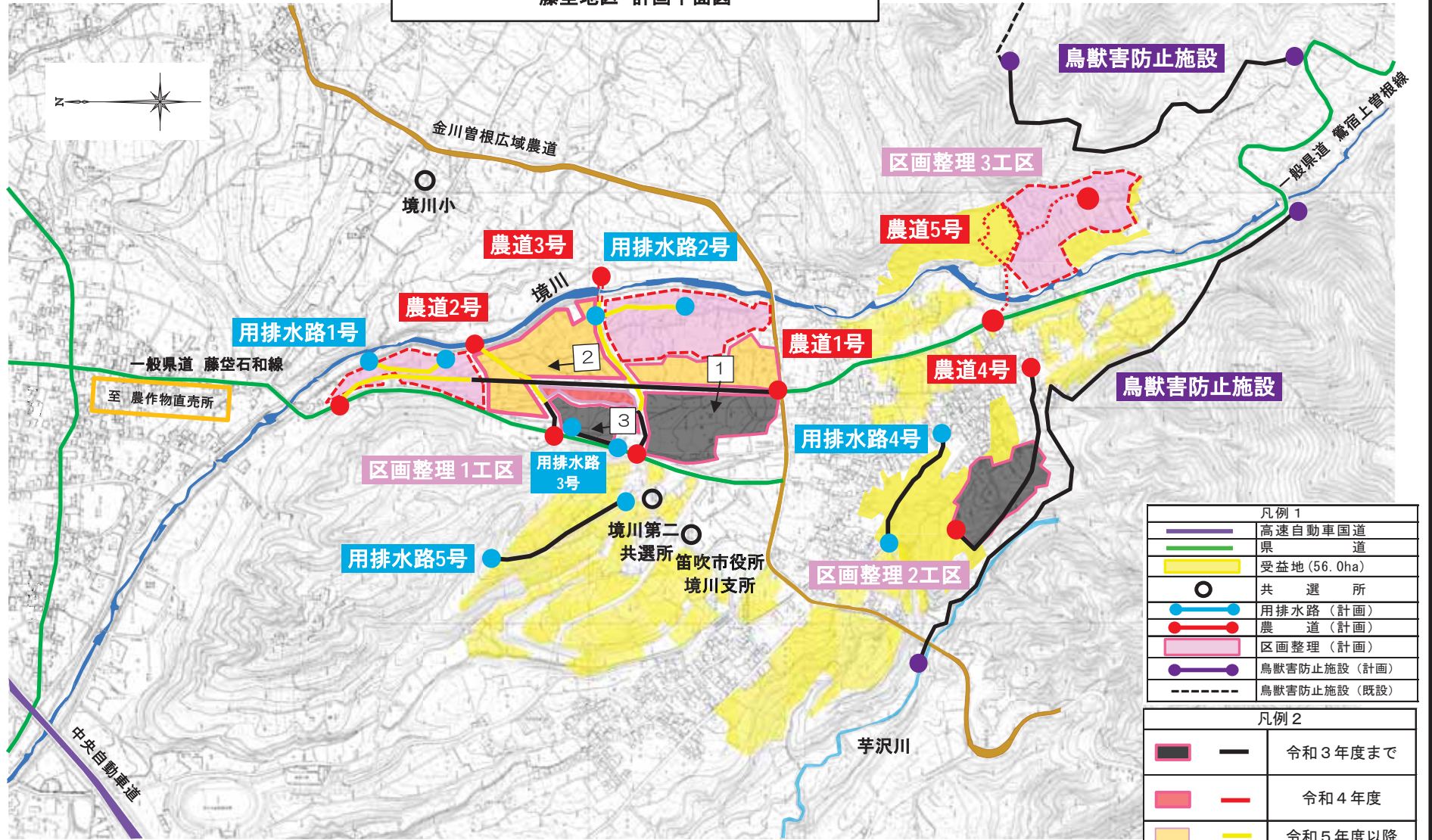
	年度	*H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	*R4	R5	R6	R7	R8
	現	計画	6.8	10.8	12.0	14	17.8	21.5	26.7	32.4	35.2	41.4	46.5	100.0		
実績		6.8	10.8	12.0	14.0	17.8	21.5	26.7	32.4	35.2	41.4	46.5				
変更計画												49.1	54.5	68.9	83.3	100.0

*事業着手年度又は評価年度

*R4年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

農地整備事業[畑地帯総合整備事業(国補)]
藤袋地区 計画平面図



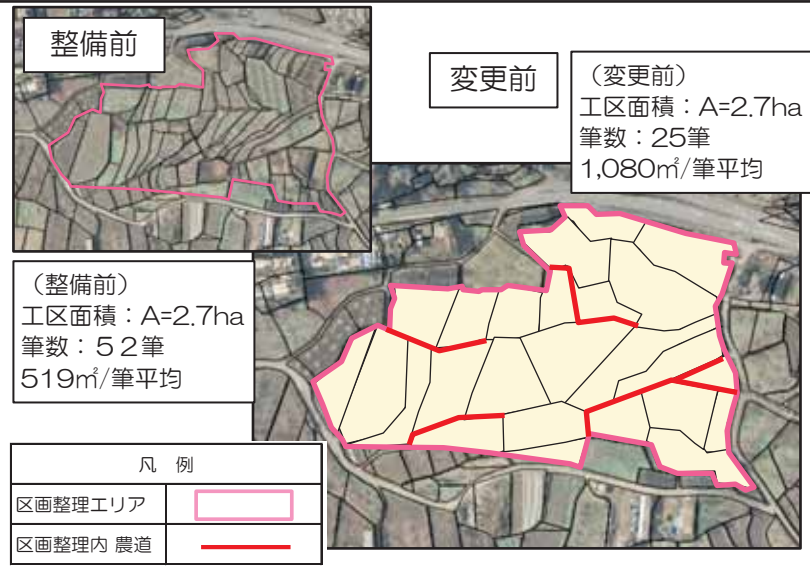
凡例 1	
	高速自動車国道
	県道
	受益地 (56.0ha)
	共選所
	用排水路 (計画)
	農道 (計画)
	区画整理 (計画)
	鳥獣害防止施設 (計画)
	鳥獣害防止施設 (既設)

凡例 2	
	令和3年度まで
	令和4年度
	令和5年度以降
	計画減

← □ 写真位置

3. 添付資料シート (2)

1 区画整理



- 各所有者の土地が分散していることや狭小で不整形であり、農道に接していない農地もあったため、農作業機械が乗り入れできないなど、営農効率が悪かった。



- 小区画で不整形なうえ、各所有者の土地が分散していることから営農環境が悪く、耕作放棄地の増加の原因となっていた。

変更後



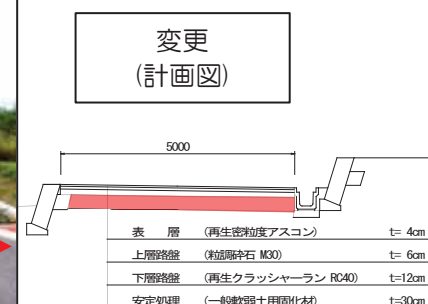
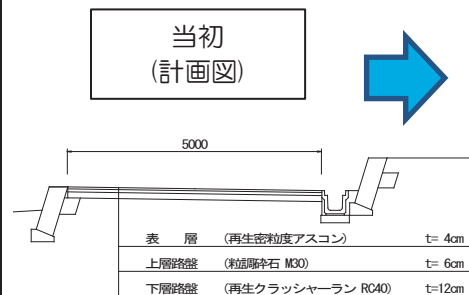
- 農地の集団化が進み、営農条件も改善されたことにより担い手への農地集積が可能となった。
- 既設道路を利用する計画としていたが、さらに区画を拡大する換地計画の変更による区画整理内農道の増。



- 農地の集団化が進み、営農条件も改善されたことにより、担い手への農地集積が可能となった。
- 地区外の担い手の参入が検討されている。

3. 添付資料シート (2)

2 農道



- 道路幅員が狭小なため、すれ違いができないことから、通作及び集出荷に支障を来していた。また、舗装が老朽化しており農作物の荷痛みが発生していた。

- エリア内の中央を縦貫する農道を新設することにより、地域の共選所や直売所への効率的なアクセスが可能となった。
- 農道整備により、安全なすれ違いが可能となり、通作や集出荷の効率化が図られ営農条件が改善された。また、農作物の荷痛みが防止され果樹の品質向上につながっている。
- 農道の土質試験の結果、想定より地盤が軟弱であり路床の改良が必要となったため、セメント安定処理工が必要となった。

3 用排水路



- 断面不足が原因で溢れ出た水により湿害が発生していたことや、石積みが崩れて閉塞するなどの維持管理に多大な労力を要していた。



- 用排水路の整備により湿害が解消されたことで、農作物の品質が向上した。また、維持管理の労力が軽減された。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H24	120,250	用排水路 L=333m、鳥獣害防止柵 L=892m	7.2%
H25	70,000	用排水路 L=319m、農道 L=144m、区画整理 A=1.0ha、鳥獣害防止柵 L=989m	11.4%
H26	21,000	区画整理 A=0.4ha	12.7%
H27	35,000	鳥獣害防止柵 L=1,244m	14.8%
H28	66,634	区画整理 A=2.0ha	18.7%
H29	65,000	農道 L=244m、区画整理 A=0.7ha	22.6%
H30	91,880	農道 L=374m	28.1%
R1	100,000	農道 L=105m	34.1%
R2	50,000	農道 L=160m	37.1%
R3	110,000	農道 L=325m、区画整理 A=2.2ha	43.7%
R4	90,000	区画整理 A=0.9ha	49.1%
R5	90,000	区画整理 A=1.0ha	54.5%
R6	240,000	用排水路 L=160m、農道 L=285m、区画整理 A=4.2ha	68.9%
R7	240,000	用排水路 L=190m、農道 L=350m、区画整理 A=4.3ha	83.3%
R8	277,236	農道 L=367m、区画整理 A=2.9ha	100.0%
合計	1,667,000		